

～ みんなで支えあえる地域をめざして～

## 横手市地域支えあいネットワーク市民集会を開催します!

子どもから高齢者まで、地域みんながつながりあい、支えあえる地域についてみんなで考えてみましょう♪

市内で行われている様々な取り組みの発表も行いますので、ぜひご参加ください。



**開催日** 令和5年3月19日(日) 13:30～15:40

**会場** 平鹿生涯学習センター 講堂

(住所: 横手市平鹿町浅舞字覚町後140)

**内容** ①講演

演題: 一人ひとりの力を発揮する地域の互助体制づくり  
～自分の力で誰かのために～

講師: 北海道教育大学函館校 准教授 齋藤 征人 氏

②パネルディスカッション

テーマ: 世代を超えてつながりあおう!

- 実践発表: ①横手市立横手明峰中学校の取り組み  
②十文字こども食堂の取り組み  
③醍醐地区交流センターの取り組み



QRコード



**特記事項** ①新型コロナの感染拡大防止のため、会場には座席制限(150席)を設けております。しかし、多くの方にご参加いただけるように、次の会場で市民集会の様子を視聴できるようにスクリーンに映しますので、最寄りの会場にお越しください。

◆かまくら館 5階 研修室  
(住所: 横手市中央町8-12)

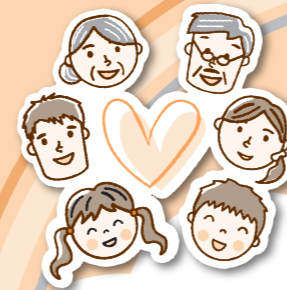
◆雄物川コミュニティセンター ホール  
(住所: 横手市雄物川町沼館字高畑338)

②市民集会の様子はYouTubeでも配信しますので、お持ちのスマートフォンなどでQRコードを読み取るか下記URLでパソコンなどによりご視聴ください。  
<https://www.youtube.com/watch?v=HzPH5v6jy1k>

..... 問い合わせ等連絡先 .....

横手市役所 市民福祉部 高齢ふれあい課 ☎ 35-2134  
社会福祉法人横手市社会福祉協議会 本部 地域福祉課 ☎ 36-5377

みんな支えあえる地域をめざして



# 支えあおう

第7号

令和5年  
3月発行

生活支援体制整備事業通信

住み慣れた地域で、元気にいきいきと暮らし続けられるように、生活支援コーディネーターや協議体を中心となり、支えあいや社会参加の充実した地域づくりを進めています。

### 世代を超えてつながろう!



まめでら博士

おや、まめ子さん。今日は一段と輝いているね。どうしたの?

今日は楽しみにしていた老人クラブと保育園との交流会なの。



毎日いきいきしている  
秘訣がわかったわい。

それは楽しい活動にたくさん  
参加しているからじゃよ!



まめ子さん

### いろんな活動に参加しよう♪

様々な活動に参加し、社会とのつながりを作っていくことは「社会参加」と呼ばれています。私たちが孤独を感じているときは脳に大きなストレスがかかっていて、心や体にも悪い影響があるとの研究結果もあり、社会参加は健康を維持するためにも大切なことだと言われています。

#### 【つながりが少ないと(発症リスク)】

脳卒中	約1.3倍
心臓病 (狭心症・心筋梗塞)	約1.3倍
認知症	約1.5倍



※NHK ホームページ「孤独が健康のリスクに!? 社会とのつながりを保つ秘訣とは」より

#### ～つながりが大事なのは子どもから高齢者までみんな一緒～



こども食堂での交流

コロナ禍の影響により、人と会う機会が少なくなり、“つながり”が弱くなったとの声や子どもたちが様々な体験をする機会が少なくなったとの声があります。

そのような声を受けて、地域みんなが楽しく交流し、つながりを保つことができるように、様々な工夫により新たな“つながる”取り組みが行われています。次ページからはそんな地域の取り組みをご紹介します♪

# どんどん拡大しています！

## 世代を超えて“つながる”取り組みの一部をご紹介します♪

### ① オンライン機器を活用した交流

コロナ禍の影響により、対面による交流活動が控えられることもあります。オンライン機器を活用することにより、新たな交流が生まれています。大森小学校ではデイサービスのご利



大森小学校とデイサービスの交流

用者との交流、横手城南高校ではいきいきサロン参加者との交流を行いました。場所は離れていても、お互いの顔を見ながらおしゃべりや体操などで交流することができました。



横手城南高校とサロンの交流

### ② お花のプレゼントで交流

横手清陵学院中学校では、通学時の見守りや声掛けなどで支えてくれている地域の方々へ恩返しをしようと、学校周辺地域のクリーンアップや希望する高齢者へお花のプレゼントを行いました。



花をプレゼントする様子

地域の方々が協力してくれたことで、各世帯を訪問して直接プレゼントを渡し、日ごろの感謝を伝えることができました。この交流がきっかけとなり、学校祭への招待なども行われました。



活動には地域の方々も協力



お友達同士で集まるのも良いけど  
こういう交流も良いわね♪

年齢が離れていると話題も広がって楽しさ倍増じゃよ。



### ③ 地区交流センターでの交流

大雄地区交流センターでは、地域のみんながつどい楽しめるように、スポーツ交流会を開催しました。

この企画は、地域住民で構成する交流センター運営委員の皆さんが中心と



ボッチャでみんなが交流

なり、内容検討・準備・運営を行いました。誰でも気軽に楽しめるようにと、ボッチャやミニテニス、スマイルボウリングを行ったことから、幅広い年代が集い交流することができました。



楽しい企画を運営委員会で相談

### 地域みんなが“つながる”取り組みを応援します！

交流することは楽しいだけでなく、顔なじみの関係が生まれ、お互いに相談し合い支えあえる関係づくりにもつながります。

各地域に設置された協議体では、交流が生まれるつどいの場の活性化や拡大に向けて様々な取り組みをしていますので、「つどいの場に参加したい」「立ち上げたい」など、みなさんの声をぜひ聞かせてください。

(連絡先：横手市社会福祉協議会 本部 地域福祉課 ☎36-5377)



協議体の話し合いの様子

★協議体ではこんな取り組みをしています★

- ・つどいの場の情報収集や情報発信。
- ・つどいの場や趣味活動サークルなどの紹介。
- ・つどいの場の継続や立ち上げに関する助成金の紹介。
- ・オンライン交流を行うための機器の貸し出しや接続支援。学校や地域などが行う世代間交流の調整。など

